

私の想い

富合町の各分野で活動中の方に「どのような町になって欲しいか、そしてあなたはそこでどのように関わっていききたいですか」「富合町の良さをどのように残していきますか」「熊本市、南区の中でどのように連携していききたいですか」などについて書いていただきました。「夢」「期待」「不安」が短い文章の中に浮かびます。

「市会議員の役目」

くつき 信哉（熊本市議会議員、木原）

自然、文化、歴史、人情味あふれる富合町。素晴らしい町です。先人達が残されたその良さを再確認し、小中学生の元気な笑顔と挨拶、家族・地域の皆さんが子ども達に注ぐ愛情、そして文化・体育活動を通して笑顔が広がる町。後継者が頑張る農業の町。商工業の自営業者が安心してがんばれる町を継続できるように私はがんばります。

南区は区役所を中心に、今後も発展していきます。まちづくりに家庭、地域の声を熊本市、区役所へつなぐのは自治会、校区自治協議会の役目です。そのパイプとなり、潤滑油となるのが市会議員の役目です。

「れんげの会で」

田中 浄子（南田尻）

「れんげの会」は平成12年に「できる人が、できる時に、できるしこ」をモットーに結成しました。現在30名の会員は結婚して40年～10年の専業農家の女性達です。日々農業に精を出し、子育て、介護にと頑張っています。そんな私達がお互いに刺激し合い、励まし合い、助け合うのが「れんげの会」です。これまで産業祭、木原不動尊大祭時で豚汁や季節の野菜の販売を行ったり、学校給食に野菜を提供したりと地域とのつながりを大切にしてきました。これからは、子ども達に本物の味を伝える食育活動や消費者との交流をと思っています。

「子ども達とのふれあいの中で」

平江 透（木原）

現在、木原神楽保存会会長として、子どもたちへの神楽の継承活動を行いながら、週3回は少年柔道の指導に当たり、子ども達とふれあった生活をしております。今までは、努力すれば、頑張れば、明日は拓けるとい時代でしたが、現在は必ずしもそうとも言えないし、町や国の将来に不安もあります。しかし、どのような社会になっても子ども達が成長し、将来を生き抜いていくためには、生きる力を身に付けることが大切であると思っています。

町は変わろうとも大事なものは将来に伝承し、必要なものは新たに取り入れながら、今後も子ども達とふれあっていききたいと思います。

「地元法律家として」

高田 志保（司法書士 志々水）

富合町は私の永遠の故郷であり、人とのつながりが密で温かい、安心安全な町です。自慢の町です。今後もその富合の魅力を失うことなく、様々な方が訪れ、親しみ、老若男女が住みよい、さらに活性化した町になることを望みます。法律に携わるものとして「法律勉強会」「無料法律相談」の開催や予防法学として「未成年者への法教育」に関わっていけたらと思っています。

富合商工会青年部に加入し活動中です。

「校区自治協議会の会長として」

近藤 稔（田尻）

今後は町民一人ひとりと、富合校区自治協議会が協力してこの歴史、文化、伝統のある富合町の発展を守っていききたいと思います。熊本市民73万人の南の玄関として益々の発展を期待します。

富合駅東口から区役所までの清藤線、富合南北道路などの早期完成と共に校区自治協議会活動の拠点となる、「コミュニティセンター」の建設は必須であると思います。そして、建設までは事務室が必要です。

「よかったー！ “富合校区成人式”」

江 龍子（民生児童委員 莎崎）

最近のニュースの中で、胸の痛むものの一つが「孤独死」。人それぞれに生き様はあっても、それなりに生きてきて、迎えた最後が孤独死とは、余りにも哀れな気がします。また、コミュニケーションの希薄さを思い知らされます。私はそのコミュニケーションを深めるのに「富合校区成人式」は大きいと思います。平成26年1月には富合校区自治協議会主催で開催されと聞き喜びました。

二十歳になり、「成人式」で再会し、絆を深め、郷土愛を再認識することで、孤独死など無いやさしい地域であり続けるのではないのでしょうか。



「就職面接会」のお知らせ ハローワーク宇城 社会福祉法人熊本県社会福祉協議会

日時：平成25年11月15日（金） 午後1時～午後3時（受付開始 12時30分）
会場：宇城市文化センター（ウイングまつばせ） 視聴覚室 宇城市松橋町大野85
求人施設：社会福祉施設、老人保健施設、訪問介護事業所等 約10社との就職面接会
求人職種：介護職、介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門職等
※ 事前申し込みは必要ありません。 ※ 履歴書は複数枚用意してください。
問合せ先：ハローワーク宇城 TEL.0964-32-8609（担当：下田）